

<情報解禁時間 2月17日 14時>

総務省記者クラブ、科学記者会・学術記者会、文部科学記者会、内閣記者会、
厚生労働記者会、都庁記者クラブ同時発表



東京都立大学



津田塾大学
TSUDA UNIVERSITY

2021年2月17日
東京都立大学法人
津田塾大学

研究者による自治体保有データの二次分析に関するシンポジウム 『自治体調査データを掘り起こす—EBPM・政策研究の可能性と課題—』 3月5日(金) 14:00～オンライン開催

東京都立大学（人文社会学部 阿部 彩研究室）ならびに津田塾大学（総合政策科学部 伊藤 由希子研究室）はシンポジウム『自治体調査データを掘り起こす—EBPM・政策研究の可能性と課題—』を3月5日（金）14時よりオンライン開催いたします。

■シンポジウム開催の背景

少子高齢化などを受けた新たな社会問題・政策課題の露呈と財政状況の悪化を受け、近年、日本政府は「証拠に基づく政策提案（EBPM）」の推進を図っています。JST RISTEX 政策のための科学研究開発プログラム※における2つのプロジェクト「子どもの貧困のための自治体調査オープンデータ化手法の研究」（研究代表者 阿部彩）、「病床の減床と都市空間の再編による健康イノベーション」（研究代表者 伊藤由希子）は、特に自治体が保有する統計データや行政記録情報こそ、地域の特性を踏まえた効果的な政策立案に活かせるものと考え、その利活用に取り組んできました。

つきましては、両プロジェクトを通じて見えてきた、自治体データの二次利用の可能性と課題について、有識者の方々とともに議論したく、下記概要の通りオンラインシンポジウムを開催致します。

※JST RISTEX 政策のための科学研究開発プログラムの詳細についてはこちら→<https://www.jst.go.jp/ristex/stipolicy/index.html>

■シンポジウム概要

日時 : 2021年3月5日（金）14時00分～17時30分

開催形式 : Zoom Webinar（オンライン会議システム）

参加費 : 無料

申込方法 : 以下のURL もしくはQRコードから事前申込をお願い致します。

https://zoom.us/webinar/register/WN_uDPI_oUSUa3Gw-2c_KRfA

より詳しい内容は別紙のチラシをご参照下さい



【主催者紹介】

■東京都立大学 阿部 彩研究室「子どもの貧困のための自治体調査オープンデータ化手法の研究」PJ

自治体による子どもの貧困に関する実態調査のマイクロデータを統合したデータベースを構築し、子どもの貧困の地域特性の把握とともに、地域ごとに異なる政策の効果分析などを行っている。

■津田塾大学 伊藤 由希子研究室「病床の減床と都市空間の再編による健康イノベーション」PJ

地域住民の死因や救急搬送データの二次分析を通じて、病院のダウンサイジングの効率化とともに、それらデータのオープン化を通じた他事業・他業種への転換等、都市空間の再編を図っている。

【問合せ先】

東京都立大学 子ども・若者貧困研究センター 阿部彩（センター長）、川口遼（特任助教）

Tel : 042-677-2065（センター直通） 042-677-2126（阿部彩研究室）

E-mail : rccap@tmu.ac.jp *緊急事態宣言中はメールでのお問い合わせをお願いいたします。